

2026年度第1回外部評価委員会評価結果まとめ

< 評価基準 >

A・B・C・Dによる4段階評価

- A (優れている)
- B (適切である)
- C (若干の改善を必要とする)
- D (大きな改善を必要とする)

評価項目	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員	G委員	H委員
1.各大学の役割や責任体制を明確化し、連携大学すべてが一体となって事業を推進する体制となっている	A	B	B	B	A	B	A	A
2. がん医療の新たなニーズに対応できる優れた人材を養成する体系的な教育プログラムが展開されている	A	A	B	B	A	B	A	A
3.各WGの活動が適切に行われているか								
【がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材の養成】								
①痛みの治療・ケアを担う人材養成（含む神経ブロック）	A	B	B	A	A	B	B	A
②地域に定着する放射線治療医養成（含む緩和的放射線治療）	A	A	A	B	A	A	A	A
③地域に定着する病理診断医養成	B	C	B	B	A	A	A	A
④がん学際領域を担う人材養成	B	B	A	B	A	B	A	A
⑤小児がん・希少がん診療を担う人材養成	A	C	B	B	A	B	B	A
⑥がん薬物療法専門医養成	A	A	B	B	A	B	A	A
⑦造血管腫瘍診療を担う人材養成	A	A	A	A	A	B	A	A
⑧口腔癌診療とがん口腔支持療法を担う人材養成	A	B	A	B	A	B	B	A

【がん予防の推進を行う人材の養成】								
①医療ビッグデータに基づくがん予防医療を担う人材養成	A	A	B	A	A	A	B	B
②遺伝の専門医・専門看護師・カウンセラー等の人材養成	A	A	B	A	A	A	A	A
③がんサバイバーに対するケアを担う人材と就労・生活支援を担う人材養成	A	A	B	A	A	A	A	A
【新たな治療法を開発できる人材の養成】								
①個別化医療を担う人材養成	A	B	B	B	A	A	A	A
②創薬研究、ビッグデータや人工知能活用等による研究開発を担う人材養成	A	A	A	B	A	B	A	A
③CAR-T療法やICI等の専門薬剤師養成	A	B	B	B	A	B	A	A
4.各テーマに対する現時点での評価について								
①がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成	A	A	B	B	A	A	B	A
②がん予防の推進を行う人材養成	B	B	B	B	A	B	A	B
③新たな治療法を開発できる人材の養成	B	A	B	B	A	B	A	A
5.本事業の継続による発展が期待できる	A	A	B	B	A	A	A	A
6.運営協議会が適切に開催され、本事業における連携および発展に資する内容となっている	A	B	B	B	A	A	A	A
7.シンポジウムやセミナーが適切に開催され、本事業における連携および発展に資する内容となっている	A	B	B	B	A	A	A	B